

日本ソフトボール協会の参加資格についての概要です。(日本ソフトボール協会【指導者資格の取り扱いについて】から参照しました。)

日本ソフトボール協会(以下、「当協会」という)では、公式試合に出場するチームの監督・コーチは、原則として、当協会公認指導者規程に定める有資格者でなければならないと規定しています。詳細については、以下の内容をご確認ください。
(周知事項)
1. 当協会主催の公式試合(都道府県予選大会・地区予選大会を含む)に出場するチームの監督・コーチは、原則として、当協会公認指導者規程「第2条」(指導者の種類)に定める有資格者でなければならない。ただし、監督・コーチが資格を有していない場合においては、チーム内に有資格者(監督代行になり得るもの)がいなければならない。※日本リーグ加盟チームは別途定めによるものとする。
※上記「第2条」とは、①公認ソフトボール・スタートコーチ②公認ソフトボールコーチ③公認ソフトボールコーチ2④公認ソフトボールコーチ3⑤公認ソフトボールコーチ4⑥(公認ソフトボール準指導員)
※上記⑥(公認ソフトボール準指導員)に関する注意事項について
この「準指導員」資格認定制度については、令和3年度をもって廃止が決定されています。また、令和3年度(最終年度)に準指導員資格の認定を実施した場合の適用期間(資格有効期間)に関しては、認定・登録年度を含め4年間となります。従いまして、公認コーチ1資格に移行される場合には速やかに共通科目1の受講を行うよう準指導員資格所持者に対して周知をお願いします。
※上記以外で「指導者対象講習会」については、令和3年度をもって廃止が決定されています。また、令和3年度(最終年度)に指導者対象講習会を修了した場合の適用期間(暫定資格有効期間)に関しては、指導者対象講習会修了日から1年となります。
2. 国民体育大会の監督は、公益財団法人日本スポーツ協会「公認ソフトボールコーチ1」「公認ソフトボールコーチ2」「公認ソフトボールコーチ3」「公認ソフトボールコーチ4」のいずれかの資格を有すること。
3. 当協会主催の公式試合(都道府県予選大会・地区予選大会を含む)に出場する場合の資格。
◎公認ソフトボール・スタートコーチ以上の資格適用種別(種目)
・生涯種別(小学生、中学生、エルデスト、エルダー、レディース、壮年、実年、シニアハイシニア、一般男子、教員)
・学生種別(高校)
※学生種別(高校)で、国民体育大会に出場する監督は公認コーチ1以上の資格が義務。
※公認ソフトボール・スタートコーチ資格は、原則所持者とするが受講本申込手続完了の者も現状同様の扱いとする。
◎公認コーチ1以上の資格適用種別(種目)
・競技種別(クラブ、実業団チーム)
・学生種別(大学)
※学生種別(大学)で、学生が監督をする場合はソフトボール・スタートコーチ資格で可

以下が日本体育協会が規定しているスポーツ指導者資格の概要です。※網掛け部分が日本ソフトボール協会が必要としている資格区分です。

資格分類	資格名	資格の概要
スポーツ指導者基礎資格	・コーチングアシスタント	地域におけるスポーツグループやサークル等において、上位資格者を補佐する者として、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる方のための資格
	・スポーツリーダー	地域におけるスポーツグループやサークル等のリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる方のための資格
競技別指導者	・スタートコーチ	地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する方のための資格
	・コーチ1(旧 指導員)	地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する方のための資格
	・コーチ2(旧 上級指導員)	地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等の監督やヘッドコーチ等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督することと併せて、コーチ間の関わり及び成長を支援する方のための資格
	・コーチ3(旧 コーチ)	トップリーグ・実業団等でのコーチングスタッフとして、ブロック及び全国大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う方のための資格
	・コーチ4(旧 上級コーチ)	トップリーグ・実業団・ナショナルチーム等のコーチングスタッフとして、国際大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う方のための資格
	・教師	クラブや商業・民間スポーツ施設等で幅広い年齢層の多様なスポーツライフスタイルを志向する会員や利用者に応じたコーチングを行うとともに、当該施設等の日常運営業務にあたる方のための資格
	・上級教師	クラブや商業・民間スポーツ施設等における実技指導の責任者・チーフを担うとともに、当該施設等の企画・経営業務にあたる方のための資格
メディカル・コンディショニング資格	・スポーツドクター	医師の立場からプレーヤーの健康管理、スポーツ外傷・障害の診断、治療、予防、研究等にあたる方のための資格
	・スポーツデンティスト	歯科医師の立場からプレーヤーの健康管理、歯科口腔領域におけるスポーツ外傷・障害の診断、治療、予防、研究等にあたる方のための資格
	・アスレティックトレーナー	スポーツドクターをはじめコーチ等との緊密な協力のもとに、1)スポーツ活動中の外傷・障害予防、2)コンディショニングやリコンディショニング、3)安全と健康管理、および4)医療資格者へ引き継ぐまでの救急対応といった4つの役割に関する知識と実践する能力を活用し、スポーツをする人の安全と安心を確保し、たうまで、パフォーマンスの回復や向上を支援する者のための資格
	・スポーツ栄養士	地域におけるスポーツ活動現場や都道府県レベルの競技者育成において、スポーツ栄養の知識を持つ専門家として、プレーヤーの栄養・食事に関する専門的視点からの支援等、栄養サポートを行う方のための資格
フィットネス資格	・フィットネストレーナー	商業・民間スポーツ施設等において、プレーヤーに対する相談及び指導助言を行うとともに、各種トレーニングの基本的指導等を主に職業として行う方のための資格
	・スポーツプログラマー	地域スポーツクラブ等において、プレーヤーのフィットネスの維持や向上のための指導及び助言を行う方のための資格
	・ジュニアスポーツ指導員	地域スポーツクラブ等において、幼少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う方のための資格
マネジメント指導者資格	・アシスタントマネジャー	総合型地域スポーツクラブ等において、クラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントの諸活動をサポートする方のための資格
	・クラブマネジャー	総合型地域スポーツクラブ等において、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行うとともに、クラブに必要なスタッフがそれぞれの役割に専念できるような環境を整備する方のための資格

日本体育協会公認スポーツ指導者資格一覧